


# ボランティア活動グループ「訪問記」

## 古くなった団地の空きスペースを 見事によみがえらせた上溝団地



前回1月号おしよましますに掲載した野菜移動販売のついでさんがお店を開いていた場所へ、皇宮下溝団地のかつてのスーパー跡地に出来た「コミュニティスペース」で毎週土曜日午前10時から12時まで開いているシルバーカフェにおじゃました。

前もって1月31日に市社協光が丘地区担当の山田智恵さんにこれまでの経過などのお話を伺っていた。県からの打診を受けたのが2018年8月。2019年9月、場所が旧スーパーストア横の事務所跡に決定。「上溝団地健康団地推進協議会」が発足した。「社会的孤立や世代間交流の不足などを解消して安心して住み続けられる団地を目指す」とことを目的に、光が丘地区全体の取り組みとして「こころえ」工事の着工が決定した。2020年2月から修繕が始まるが「コロナ禍の影響もあって予定の変更などが続き、そのおかげで入口前に花壇が先にできあがった。そして市内の相模原塗装協同組合の協力もあってシャッターが綺麗に塗りの替えられ、子供たちで素晴らしいアジサイの絵も生まれた。2021年10月「コミュニティスペース」が無事完成して「シルバーカフェ」のプレオープンにこぎつけたのだ。



近所から注文が入り出前に向かう阪本さん

2月4日(土)  
立春の日10時の  
開店に合わせて  
むかっした。上溝  
団地は広大な敷  
地だがその中央  
部に郵便局、集  
会所、児童館、医院などがあり、そこに隣接してかつ  
てのスーパーストアがあったのだ。場所を聞くには分か  
りやすいところだった。通りに面して「シルバーカフ  
エ」の立て看板がみえた。奥へ進むと一番に整備され  
たというプランター栽培のパンジーや桜草の花壇が  
隣には野菜も植えられていた。さっそく開店準備に  
忙しい責任者の阪本敏彦さんと事務局長の山田盛二さ  
んに迎えていただいた。

この場所の名称は「健康お茶べり庵 ほっこり屋」と名付けられ、住民の手作りだという素晴らしい看板が掲げられている。外にもシルバーカフェのテーブルがしつらえてあり、今日の穏やかな立春の日の陽気にはうつついだ。すでに何人か腰をおろしてお話にも花が咲いているよつ。この場所は役所の管理ではなく、ここを実現させた地域の皆さんで運営している。近隣の方たちでなくても利用できるそうだ。空いている時は包括支援センターが体操教室にも使っているが、



シルバーカフェの立て看板  
本当にホッコリです

### シルバーカフェについて詳しく

毎回なかなかの盛況で平均でも1回25人ぐらいの利用者があり、もう2年目になるとか。スタッフは女性4名、男性3名で元民生委員、元包括支援センターの所長さんなど。以前このオシヤマシマスで伺ったことのある「出張ミヤタ珈琲」さんも、お母やまご親子

でスタッフとして参加されていて評判のミヤタ珈琲を提供している。スタッフの方たちも顔なじみが多いので気楽に来ることができるといって面もいってこであるよつだ。

お客さんは男の方が割合多いのではないかと感じる。参加者の92オといつ男性は得意の詩吟で「シヨウネン オイヤスク ガク ナリガタシ…」を披露してくださった。すばらしいだけに皆さん全員拍手をおくった。また別の男性は「家で一人テレビを見るより、ここへ来て皆さんとお話ができるのが楽しい」と。中には「携帯電話の音を大きくしてほしい」と頼んでいる方、「入れ物のフタが開かない」と男性スタッフに駆け寄る方など、もつ和気あいあい。私達も参加表に記入をして100円で「この売であるミヤタ珈琲をいただく。お菓子付きでお茶、紅茶などお代わり自由だぞうだ。運営は地区社協からの助成金などで賄われている。近隣の方のみならず通りがかりの方も、相模原光が丘郵便局隣りを目指して立ち寄ってみてください。(小川 植野)



手作りの  
「健康お茶べり庵ホッコリ屋」  
の看板



\*連絡先 光が丘地区社協事務局  
相模原市中央区光が丘3-7-1  
1階  
TEL 042-707-1332